

「みなと」を活用した支援物資輸送訓練(新宮港～宇久井港)を実施

和歌山県「命のみなとネットワーク」推進協議会

日 時：令和7年2月17日（月）10:00～12:00
 場 所：新宮港（-4.5m岸壁）～ 宇久井港（-4.5m岸壁）
 実施主体：和歌山県「命のみなとネットワーク」推進協議会
 参加者数：約70名

和歌山県「命のみなとネットワーク」推進協議会

概 要：災害時の陸路分断等を想定して、「みなと」の機能を活用し海上輸送による救助・救援や物資輸送等の災害対応支援を行うためのネットワークを形成することを目的に、和歌山県下の市町及び港湾管理者等で構成する協議会を設立。港湾相互の地域間連携の強化、関係機関の連絡体制の確立、訓練の実施等について取り組む。

構成機関：和歌山県県土整備部港湾空港局及び港湾所在の6地方振興局等、港湾所在の14市町（※）、和歌山県港湾建設協会、近畿運輸局和歌山運輸支局、近畿地方整備局港湾空港部、近畿地方整備局和歌山港湾事務所（事務局）

※和歌山市、海南市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、湯浅町、広川町、由良町、日高町、美浜町、白浜町、串本町、那智勝浦町

【訓練想定】台風の接近に伴い、短期的・局地的に記録的大雨が継続した。17日4時頃に、和歌山県 那智勝浦町において大規模な土砂崩壊が発生し、国道42号が閉塞。ライフラインの寸断などにより、宇久井地区が孤立することになった。

【訓練項目と使用船舶等】

□支援物資積込訓練【新宮港】



田岡 新宮市長



支援船（港湾建設協会）



堀 那智勝浦町長



支援トラック（新宮市）

□支援物資受入訓練【宇久井港】



花田 和歌山県
港湾空港局長



公用車（那智勝浦町）
支援ユニック車（港湾建設協会）



東 和歌山県港湾建設協会
会長



古土井 近畿地方整備局
港湾空港部長



「みなと」を活用した支援物資輸送訓練(新宮港～宇久井港) (概要写真)

■新宮港

①10:00～10:10 訓練開始挨拶・訓練想定説明



②10:10～10:15 支援物資積込訓練 (支援物資)



③10:15～10:30 支援物資積込訓練 (給水タンク・支援物資カーゴ)



支援船 宇久井港へ出港
※高波浪のため航行取り止め

■宇久井港

④11:30～11:31 訓練想定説明



⑤ドローンを用いた周辺状況確認
※強風のため中止

⑥11:31～11:35 支援物資受入訓練 (給水タンク・支援物資カーゴ)
※高波浪のため代替船を用いて実施



⑦11:35～11:40 支援物資受入訓練 (支援物資)



⑧11:40～11:45 講評・訓練終了挨拶

